



県道・市道の整備

問 市道井之内線については、道路舗装の劣化(ひび割れ等)が多く、地元から舗装整備の要望もあると聞きますが、今後の整備予定を伺います。

答 建設環境部長 今年度、井之内津波避難施設(築山)への入口付近から約150メートルを舗装修繕します。この路線は、舗装面の劣化の進み具合など現場の状況を考慮したうえで、継続的に修繕工事を実施します。

問 市道307号線(雨坪地先の県道日向停車場極楽寺線から日向の森へ接続する道路)は舗装の劣化が多く見受けられ、かつ、道幅が狭い箇所もあるため、早急な舗装工事を望む声があります。その対応を伺います。

答 建設環境部長 昨年度、隣接者の協力を得て、立ち木等の調査を行いました。今後は、調査をもとに、引き続き、用地交渉を行います。

なお、当該道路の舗装剥離箇所の修繕は、今年度中の対応を予定しています。

問 道路沿いの除草作業について、その対応状況を伺います。

答 建設環境部長 県道については、所管する千葉県山武土木事務所において除草作業を実施していますが、近年では要望数の増加に加え、人件費や燃料費の高騰もあり、維持管理費の予算面で厳しい状況にあると聞いています。

市道を管理する本市においても、予算面の厳しさは同様であり、道路利用者からの通報やパトロールにより、主要道路や通学路を中心に、対応しているほか、奉仕活動として道路除草を実施していただいている地区等へ、資材支給等の支援を行っています。

作田川の水害対策工事



問 9月8日の台風13号接近に伴う大雨により、作田川上流部の河川の氾濫により、雨坪・木原・森地先の住宅が床上浸水しています。上流部の河川整備も早期の着工が望まれますが、浚渫工事の進捗状況を伺います。

答 建設環境部長 作田川を管理する千葉県山武土木事務所を確認したところ、新殿内橋付近において、作田川に

堆積した土砂を撤去する河道掘削を継続的に実施していると聞いています。

問 源川雨坪地先の河川拡幅に向けた今後の予定を伺います。

答 建設環境部長 千葉県山武土木事務所を確認したところ、現在、作田川本川改修を優先的に実施しているとのことです。

しかし、今回の台風13号接近の際、源川流域で溢水があったことから、今後、県に治水対策を要望していきます。

問 雨坪地先の調節池は堆積物が多く、調節池としての機能を果たしていないと感じますが、浚渫工事等、県へのさらなる要望について、市の見解を伺います。

答 市長 今回の台風において、当該調節池が十分に機能していなかったと認識しています。以前、熊谷知事が現地視察に来た際にも直接伝えましたが、再度、整備の要望を行い、併せて、作田川の合流地点の拡幅についても要望していきたいと考えます。

有害鳥獣被害対策

問 これまでに実施した有害鳥獣駆除の取組を伺います。

答 産業振興部長 以前は、山武北部猟友会の市内各支部捕獲隊において活動していましたが、令和3年度からは山武市有害鳥獣駆除隊を設置し、イノシシなどの獣類の捕獲および追い払い活動を

実施しています。

なお、令和4年度の捕獲実績は、イノシシ83頭、アライグマ245頭、ハクビシン45頭です。

問 有害鳥獣被害対策の今後の課題を伺います。

答 産業振興部長 現在、有害鳥獣駆除隊の登録者のうち、70歳以上が約7割を占めていることから、担い手確保が課題であり、この課題解決に向けては、農家の若い世代に対し、狩猟免許の取得を推進するなど、駆除隊として従事していただけるよう、啓発活動に努めたいと考えます。

そして、駆除隊による駆除に加え、集落単位で対策を実施する地区が増えることが望ましいと考えます。

問 県からの支援状況および近隣市町との連携状況を伺います。

答 産業振興部長 市では、県に對して、県事業によるイノシシの捕獲実施区域に山武市全域を含めるよう、昨年度、要望書を提出しました。

その結果、今年度から、山武市においても実施区域として捕獲が実施されています。

また、近隣市町とは、富里市鳥獣被害対策実施隊による山武市内一部区域のイノシシ捕獲を認め、駆除対策の強化を図る取組や、東金市をはじめとする隣接市町とは被害状況や捕獲実績等の情報を共有する等の協力連携に努めています。

個人質問